

1 予算執行の概況

平成23年度は、以下の方針に基づき予算編成を行った。

- ①財政健全化・行政改革に向けた取組みとして、可能な限りの歳入確保を図るとともに、既存事務事業の徹底した整理・合理化を図る。
- ②マニフェストに関する取組み及びアクションプランについては、事業費の精査を行った上で事業を推進する。
- ③未来を見据えた地域活力推進に向けた事業への投資として、雇用対策や中小企業支援、医療、子育て、教育、介護、絆社会の再生などの事業を重点的に推進する。

当初予算編成時点においては、約135億円の収支不足が見込まれたことから、市税の徴収対策などにより約66億円の歳入を確保するとともに、事務事業の見直しなどにより約49億円の歳出削減を行い、なお不足する20億円については市債管理基金から借入を行うこととした。

予算の執行段階においては、平成23年3月に発生した東日本大震災により、経済・生産活動の停滞による税収等への影響や、災害復旧・被災者支援等に多大な財政需要が見込まれたことなどから、歳入確保に万全を期すことはもとより、歳出においても、創意工夫や経費節減を行い、最少の経費で最大の効果をあげるよう、効率的な予算執行に努めた。

この結果、一般会計の決算額は、歳入3,680億8,400万円、歳出3,649億7,100万円となった。

また、特別会計（企業会計の病院事業、下水道事業及び水道事業を除く。）14会計の決算総額は、歳入2,983億4,100万円、歳出3,093億8,800万円となった。